

第33回駐日外交団の地方視察ツアー(茨城県)

平成 31年2月
地方連携推進室

平成31年2月22日に、外務省と茨城県との共催で駐日外交団を対象とした地方視察ツアーを実施し、駐日各国外交団14か国から計18名が参加しました。

今回のツアーは、茨城県の歴史や文化、産業及び2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組への理解を深めることを目的に開催されました。

まず、近世日本の藩校教育の拠点として知られる弘道館を訪問しました。敷地内において綺麗な梅の花が咲き誇る中、外交団一行は「水戸の梅大使」と記念写真を撮影後、館内から式対場で北辰一刀流の武術の実演を見学しました。その後、館内見学や資料案内を通じて、弘道館の教育制度等、江戸時代の教育全般について理解を深めました。

続いて茨城県知事主催の昼食会が「とう粹庵」にて開催されました。冒頭、大井川茨城県知事より茨城県の四季折々の魅力や観光名所についてプレゼンテーションが実施され、その後、常陸牛を中心とした懐石料理を堪能しました。食事中には知事を始めとした県の方々と外交団の間で、産業、文化、オリンピック・パラリンピック等、様々な分野で相互に建設的な意見交換がなされました。

午後は、小学校の跡地を活用した「なめがたファーマーズヴィレッジ」を訪れました。屋内にあるおいもの加工食品の製造工場にて、やきいも専用の世界一長いトンネルオーブン等、やきいもの甘さを引き出す過程を見学しました。冷凍技術を活用したやきいもの保存手法等多くの工夫に、外交団も興味深々でした。また、おいもスイーツを試食し、行方(なめがた)の地元野菜や名産品のお土産コーナーにおいて、買い物を楽しみました。

最後に、日本プロサッカーリーグに加盟する鹿島アントラーズのホームスタジアムである、茨城カシマスタジアムを訪問しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの会場である同施設内を見学し、選手の気分を味わいながら、茨城県のスポーツ振興についての理解を深めました。



弘道館で梅大使と記念写真



なめがたファーマーズヴィレッジにてやきいもの試食



茨城カシマスタジアム内を見学

【プログラム・訪問先】

2月22日(金)

- 弘道館
- とう粹庵(昼食会)
- なめがたファーマーズヴィレッジ
- 茨城カシマスタジアム